

田辺AC



田辺アスリートクラブ 2022.7.2 (土) No.52

蛍光タスキで登校

朝の出勤時の光景です。昨年の10月頃から、小学生が白浜台から白浜第二小学校へ(約2km)フラワー道路を歩いて来るようになった。最初は高学年の男の子と女の子だったが、この4月からたぶん1年生が2名増え4人となった。高学年の男の子は自転車通学になり、今は3人となった。時には、お父さんが一緒に歩く時もある。1年生の子は最初、お兄ちゃん、お姉ちゃんに手をつないでもらって学校に来ていた。そのうち手はつながないで、走って、競走して登校する時もあった。今は、6年生のランドセルにくくられた蛍光のタスキの端を持って登校している。推察するに、お姉ちゃんは手つなぐことや、さっさと歩くことができない1年生に嫌気がさし、面倒くさくなって、うちの人に「もういやや」と言ったのかもしれない。家で親は仕方ないから、蛍光タスキを持たせて、登校させるようになったのだと思う。

私は、その光景を見て「いいなあ」と思って仕事場に通っている。私は常々、子どもが自立するのは、小学1年生になって学校へ一人で登校する時、それが自立の一步だと思っている。保育所や幼稚園までは、何でも送ってくれ、見守ってくれる。しかし、小学生になれば、自分で何もかもしなければならなくなる。雨の日は傘をさして、雨の強い日は長靴とカッパを着て学校へ行く。それが自分でやって行かなければならないという気持ちになり自立へとつながる。もちろん、襲われたり、交通の危険があったりするのであれば送って行かなければならない。昔、途中から雨が降ってきたら傘だけ学校へ届けたものであるが、今は、校門に自動車が並ぶ。

このことは、大いに陸上競技でも関係する。グラウンド内に親は入れない。レース前の準備、コール、失敗しても選手の責任になる。記録を伸ばそうと思えば、靴ひもの強さ、いつ上着を脱ぐか、どうリラックスするか、どう気持ちを高めるかなど自分で判断しなければならないことは山ほどある。このことができるようになるためには、何でも自分でやらなければならないことに気づき、自覚する必要がある。何を子どもにさせるか? 私は、歩いて登校することが第一歩だと思う。

豊田 昭裕

7月の予定

- 7月 2日(土) 9時~11時
(田辺SP 陸上競技場)
- 9日(土) 9時~11時
美術館横 駐車場集合→(新庄総合公園)
- 16日(土) 9時~11時
(紀南こころの医療センター:たきない町)
- 23日(土) 9時~11時
(紀南こころの医療センター:たきない町)
- 30日(土) 9時~11時
美術館横 駐車場集合→(新庄総合公園)

※練習の中止や練習場所を変更する場合
メール・田辺AC HPでお知らせします。
練習の直前に必ずご確認ください。

練習時間・場所・年会費

◎毎週 土曜日 午前 9時~11時

場所…◇田辺スポーツパーク (SP)

[陸上競技場、体育館(上靴が必要)]

室内練習場、多目的グラウンド]

◇上秋津若者広場

◇紀南こころの医療センター(たきない町)

会費…1~3年生 年間(6,500円)

4~6年生 年間(7,500円)

9月~10月入部は 4,000円

11月~12月入部は 3,000円

1~3月入部は1,000円頂きます。

◎毎週 火・木曜日 午後 6時~7時 (希望者)

場所…上秋津若者広場 会費…年間2,000円

☆事務局・連絡先 … 戎嶋

TEL 090-5152-8802

PCメール acebisujim@leto.eonet.ne.jp

携帯メール ad-9130.660-3.bc@docomo.ne.jp

ホームページ http://tac.undo.jp/wa/

田辺ACで検索してください。

連絡事項は 随時ホームページに掲載していますのでご確認ください。